

自然景観を再現する法面保護工法

斜面いろいろどり工法

景観・環境保全型モルタル・コンクリート吹付

NETIS登録番号 KT-140026-A



創環部

〒108-0075 東京都港区港南1丁目8番27号
TEL 03-5782-9091 FAX03-3450-5387



北海道支店	〒060-0031 札幌市中央区北一条東2丁目5-8	TEL 011-222-3351
東北支店	〒980-0014 仙台市青葉区本町2丁目3番10号	TEL 022-263-2446
盛岡営業所	〒020-0026 盛岡市開運橋通1-1	TEL 019-622-5300
関東支社	〒108-0075 港区港南1丁目8番27号	TEL 03-5782-9090
北関東営業所	〒370-0841 高崎市栄町15番地9号	TEL 027-310-6210
長野営業所	〒380-0921 長野市大字栗田2063番地	TEL 026-224-7581
新潟営業所	〒950-0917 新潟市中央区天神1丁目17番1号	TEL 025-245-9288
北陸営業所	〒920-0022 石川県金沢市北安江3丁目6番6号	TEL 076-260-1480
中部支店	〒460-0004 名古屋市中区新栄町2丁目9番	TEL 052-265-5233
静岡営業所	〒420-0851 静岡市葵区黒金町59-6	TEL 054-221-7661
関西支店	〒541-0042 大阪市中央区今橋2丁目3番16号	TEL 06-4707-7010
中国支店	〒730-0021 広島市中区胡町4番地21号	TEL 082-569-4081
山陰営業所	〒683-0067 米子市東町171番地	TEL 0859-23-1820
四国支店	〒760-0028 高松市鍛冶屋町3 香川三友ビル	TEL 087-811-4315
愛媛営業所	〒791-0011 松山市千舟町5-5-3	TEL 089-915-0080
九州支店	〒812-0038 福岡市博多区祇園町4番2号	TEL 092-281-8011
南九州営業所	〒892-0052 鹿児島市上之園町24番2号	TEL 099-214-5557
沖縄リビング株式会社	〒901-0306 糸満市西崎町5丁目-10	TEL 098-840-9360

日本の土台を新しく。

 岡三リビング株式会社

景観・環境保全型モルタル・コンクリート吹付 斜面いろいろどり工法

景観と調和した彩色表現を実現。自然景観を再現する法面保護工法

これまで急勾配斜面や岩盤斜面における法面保護工としてモルタル・コンクリート吹付工が盛んに行われてきました。モルタル・コンクリート吹付工は施工が簡便であり、また、地山の密閉性が高いため風化・浸食防止効果が高いなどのメリットがある反面、施工後の周辺環境との調和は困難であり、景観性において大きな問題を残していました。その対策として、着色剤を混入してのモルタル・コンクリート吹付工も行われてきましたが、緻密な彩色表現は不可能であり、環境の調和とはほど遠いものでした。

当工法は、モルタル吹付工のメリットを生かしながら、景観の調和を図ることが可能な工法です。エージング技術により人工的に現状の景観と調和した仕上がり面を表現するため、法面保護を行いつつ違和感なく周辺環境とけ込むことができます。

※「エージング」とは、「age」(年、年齢)+ing(進行形)のことであり、「年月が進行していく」様を表現しており、「経年変化」を意図的に表現することを目的とした技法の名称です。

特長

1. 下地となる吹付モルタルにより基盤形状を、仕上げ塗装により地表の状態を表現することでリアルに現状の地盤を再現することができます。
2. 地山を着工前の彩色に還元する工法ですので、その土地の風景を残したまま、地山の保護・補強を行うことができます。
3. モルタル吹付面の表面に発生する軽微なクラックを埋める効果により、内部への水の侵入を防ぎ、強固なモルタル吹付面を構築します。
4. 植栽計画を組み込むことにより、時間の経過と共にさらに自然景観と一体化させることができます。
5. 複雑な地層（地質）であっても、細かい表現が可能です。

配合例

下地モルタル吹付

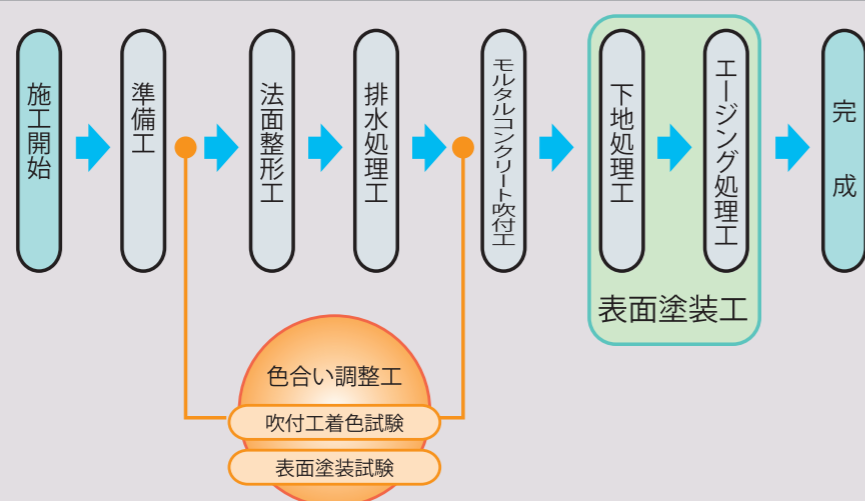
セメント	細骨材	W/C	顔料 (wt%)	繊維 (Vol%)
1	4	60%以下	C×3~5%*	0.23~0.69

※顔料は現場条件、色合い調整試験結果により決定します。

表面塗装工使用材料表

	名称	種類	kg/1,000m ² 使用量
下地処理工	RS-1403	エージング専用特殊シーラー	325
エージング処理工	RS-1505	エージング専用特殊アクリルエマルジョン塗料	780

施工フロー



施工事例

公園内の不安定化した急崖を補強土工で安定化させ、着工前の地層を再現した事例



※地層や岩質もリアルに再現しています。

※植えていたツル系植物が生え、より施工前の状態に近づいてきました。

施工状況

準備工
現状の岩盤の特徴を調査し、完成時に未施工箇所とのすりつけ部の調和を図れるようイメージCG、配色図を作成します。

法面整形工
オーバーハング等の地山の危険箇所や、モルタルコンクリートの密着に害をなす植物、根系を除去します。

排水処理工
地山からの湧水が認められる場合は、地山との一体化に害をなすため適切な排水処理工を施します。

色合い調整工 (吹付工着色試験)
モルタルコンクリート吹付面が基岩を表現するよう、顔料の配合を決定するために吹付工着色試験を行います。

モルタルコンクリート吹付工
吹付工事着色試験結果に基づき、配合を決定し、モルタルコンクリート吹付を実施します。

下地処理工
下地となるモルタルコンクリート硬化後、吹付面を清掃し、下地シーラーを吹付により塗布します。

エージング処理工
イメージCG、配色図に基づき吹付け、刷毛塗りなどにより仕上がり面を表現します。その後、汚れなどを再現します。

完成
最終的に現状斜面を再現し、周辺景観との調和を図ります。時間経過とともに自然の汚れによって周辺景色と馴染んでいきます。

施工実績



重要文化財
小諸城跡地「懐古園」法面補強工事

世界遺産、天然記念物
「石見ヶ浦」洞窟内補強工事

重要文化財
重要文化財である御堂の地山補強工事

歴史文化遺産
「旧吉田茂邸敷地内」法面補強工事